

第2089号

2023年1月28日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

どうなる？市立病院の経営

市立根室病院はこのたび、「経営強化プラン（素案）」（以下、プラン）を公表しました。現在、パブリックコメントを募っており、3月中には成案化する予定となっています。



プラン策定の背景

公立病院ではこれまで改革プランに取り組んできましたが、医師・看護師不足、少子高齢化による医療需要の変化等により、不採算地区を中心とする中小規模の公立病院が厳しい経営状況に置かれています。

また、新型コロナウイルス感染症においては、公立病院が果たす役割の重要性が改めて認識され

一方で、平時から、各病院の役割分担や医師・看護師等の確保の重要性が浮き彫りとなりました。

公立病院の経営は、地域医療構想および地域包括ケアシステム、医師の働き方改革及び偏在対策といった国の医療政策の動向を踏まえて進めていくことが求められています。

こうした状況を踏まえて、2022年（令和4年）

たところでは、

3月に総務省では「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を示し、地方公共団体へ「公立病院経営強化プラン」の策定について

また、経営指標に係る数値目標や収支計画なども示されています。

唯一の公立病院として、救急医療、小児医療、周産期医療など不採算部門を担っていることから、一般会計からの繰り入れは不可欠です。また、現在の根室市一般会計は、好調なふるさと応援寄付金を背景に、病院会計への繰り出しも計画通り対応できる見通しです。しかしながら、繰入金、特に基準外の部分は減らしていくべきです。

通知しました。市立根室病院では、当該ガイドラインに基づき、病院経営の効率化を図り、持続的な経営を可能にするともに、今後も必要な医療提供体制を確保するため「市立根室病院経営強化プラン」を策定しました。

一般会計等からの繰入金の見通し

予算委員会や決算委員会等で、多くの議員から金額の大きさについて指摘されている一般会計からの繰入金ですが、2023年度の決算見通しでは18億9千6百万円（うち基準外繰入金6億5千7百万円、以下同じ）、24年度が21億7千7百万円（9億5千8百万円）となっており、プラン最終年度の27年度まで、21億22億円（9億円）代が続きます。

繰入金金の主な増額要因は、23年度まで「コロナ対策」として国や道からの補助金がありました。24年度からは「コロナ5類移行」に伴い、国・道の補助金がなくなるためです。

岸田政権は大軍拡路線を突き進み、新年度の軍事費は8兆円近くになるうとしています。

軍事費を減らして公立病院への手厚い支援が実現すれば、市立根室病院の経営も大きく改善するのではないのでしょうか。

プランの主な内容として、役割・機能の最適化と連携の強化、医師・看護師等の確保と医師の働き方改革、新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み、施設・設備の最適化、経営の効率化に向けた取り組みなどが挙げられています。

プランの主な内容として、役割・機能の最適化と連携の強化、医師・看護師等の確保と医師の働き方改革、新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み、施設・設備の最適化、経営の効率化に向けた取り組みなどが挙げられています。

持続可能な病院経営のために——国の役割はきわめて重要

市立根室病院は、地域

市立根室病院は、地域